

自然の恵みをエネルギーに。 エネルギーを自然の恵みに。

— 次世代につなぐ ニキノチカラ PROJECT —

地球温暖化の影響は 仁木町 にも!?

一日当たり
最大降水量



出典/後志地方 余市のデータ
1984年(7月28ミリ)と2024年(7月70ミリ)の比較

トマトの
単位面積当たり
生産量



出典/2003年(10アール当たり5111キロ)と
2023年(10アール当たり4120キロ)の比較

年間合計
日照時間



出典/後志地方 余市のデータ
1984年(年2386.8h)と2024年(年1567.5h)の比較

年平均気温



出典/後志地方 余市のデータ
1984年(6.39°C)と2024年(8.99°C)の比較

そこで! 再生可能エネルギー

再生可能エネルギー(再エネ)とは、太陽光・風力・水力・地熱・バイオマスなど、自然界で繰り返し得られる枯渇しないエネルギーのこと。地球温暖化への影響を食い止めるために、こうした環境負荷の少ないエネルギーの活用が重要とされています。

世界はもちろん、日本中でも進む地球温暖化対策！
再生可能エネルギーの活用は、もう始まっています！

太陽光発電

温室効果ガスの削減やエネルギー自給率の向上、そして地域経済の活性化を目的に、
 日本各地の自治体で再生可能エネルギーの導入を含めたCO₂削減の取り組みが進められています。

ここでは太陽光発電とバイオマス利活用の事例をもとに、
 地域の特性や資源を生かした
 その土地ならではの取り組みをご紹介します！

バイオマス利活用

バイオマス利活用とは、廃棄物や未利用資源を発電や熱利用などのエネルギーに活用したり、
 資材やバイオ炭*として循環利用する仕組みで、自然環境に左右されにくい安定供給が特長です。

*剪定枝やもみ殻などを原料にした炭化物のこと。未利用資源を燃料として活用できるとともに、
 土壌改良や炭素を長期固定できるといったメリットを有します。

[導入事例]

[導入事例]

北海道 苫小牧市

2024年度に市役所駐車場や
 小中学校の屋上など市有施設
 10か所に太陽光パネルを設置

市有施設10施設に太陽光発電を導入
 することによるCO₂削減量は年間合計
 395.1トンに上り、これは一般家庭約80
 世帯分の排出量に相当します。

設置施設 市有施設10か所



福島県 桑折町

2020年度に災害対策本部となる町役場庁舎に
 太陽光発電設備および蓄電池を整備

2022年度の震度6弱の地震の際、町内全域で3時
 間に渡る停電が続く中、蓄電池より電力供給を
 行うことで、明かりが灯り充電もできる避難場所
 として町役場を提供できました。

設置施設
 町役場庁舎

北海道 岩見沢市

2025年度に農地に垂直型の太陽光パネルを設置し、
 かぼちゃの栽培と同時に発電を実施

パネルを垂直に設置することで、積雪の蓄積
 を最小限に抑え、雪の重みによる損壊リスクを
 大幅に軽減できます。また、再生電力の発電
 収益の一部は耕作者に還元されています。

実施事業者
 株式会社 H.Eエナジー
 株式会社 H.Eファーム



京都府 亀岡市

放置竹林やもみ殻を活用したバイオ炭を撒き栽培した作物を
 全国に先駆けて「クルベジ®」というブランド名で販売*

①放置竹林整備による農村の自然の維持、②竹やもみ
 殻のバイオ炭化によるCO₂削減と気候変動緩和、③環境
 保全価値を見える化した「クルベジ®」購入による農家の
 応援という一石三鳥のメリットを生み出しています。
 *クルベジの取り組みは、2008年度の京都府亀岡市の取り組みを皮切りに、
 岡山県津山市周辺、千葉県北総部、北海道下川町など全国に広がっています。

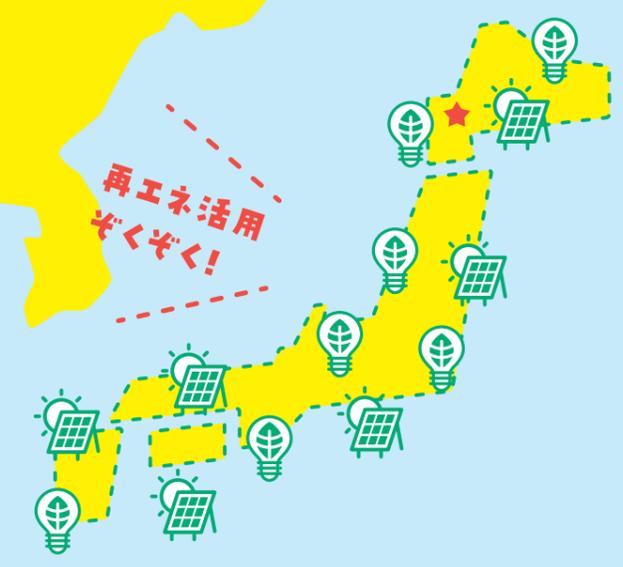
実施事業者
 亀岡クルベジ
 ファーマーズ



福岡県 うきは市

果樹剪定枝をバイオ炭の原料や体育施設等のボイラーの
 燃料に利用予定。2023年度に脱炭素先行地域に選定

バイオ炭への活用により環境配慮型農業が加速し、環境価値の付いた
 ブランド「サステナフルーツ(仮称)」を創出することで、農家の所得向上
 や後継者の確保につながる好循環が期待されます。



再エネ活用
 ぞくぞく!

*CO₂等の排出削減量・吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。バイオ炭のJ-クレジットの取引価格は変動しますが、1トンあたり約5万円で取引された実績もあります。

再生可能エネルギーの **なぜ? なに? Q&A**



太陽光発電に関するご質問

Q 太陽光発電の設置は自然破壊につながるのでは?

A 大規模な発電事業では、土砂災害や森林伐採などの問題が起きていますが、それは「設置の仕方」の問題です。太陽光発電そのものは発電時にCO₂を出さず、再エネの中でも特に導入が進んでいる技術の一つです。自然破壊、景観悪化を防ぐため、適切な土地の調査や、地元住民との話し合いを重ねることが必要不可欠です。

Q 家庭用の太陽光発電も同じように環境に悪いの?

A 使用後のパネルを適切にリサイクル・処理することは大切ですが、大規模ソーラーと違い、家庭や工場、公共施設の屋根に設置するタイプは土地を壊さず、むしろ有効活用の代表例です。仁木町でも、自然破壊につながらない導入方法として、「屋根置き型」や農地と太陽光発電を組み合わせた「ソーラーシェアリング」などを検討しています。

Q 使い終わった太陽光パネルはゴミになりますか? リサイクルはできますか?

A リサイクル体制が十分でないことから現状リユース率は20%、リサイクル率は54%程度ですが、太陽光パネルは主にガラス・アルミ・プラスチックで構成され、理論的には約95%がリサイクル可能です。今後廃棄パネル増加が予想されるため、政府はリサイクル制度・体制の構築を進めています。



バイオマス利活用に関するご質問

Q なぜバイオ炭が注目されているのですか?

A バイオ炭が注目されるのは、地球温暖化対策と土壌改良の両面で効果があるためです。炭化することでCO₂を閉じ込め(固定化)、大気中への放出を防ぐことができます。また、バイオ炭を土壌に混ぜ込むことで、保水性が向上し、肥沃な土壌を作り出すことが可能となります。これにより、作物の収量向上や健康な成長を促すことが期待できます。

Q バイオ炭を使う上での注意点はありますか?

A バイオ炭の品質は基になっている原材料や製造方法によって変化します。バイオ炭の効果を最大限に引き出すためには、バイオ炭の性状・品質の調査とそれを施用する土地との相性を確認して使うことが重要です。バイオ炭を活用してみたいという方は是非仁木町役場へお問い合わせください。

Q 個人でもできる取り組みはありますか?

A 一般消費者として、バイオ炭を活用した農産物を積極的に選択することで、技術の普及を支援できます。例えば、環境配慮型ブランドの農産物を購入することで、環境に優しい農業を間接的に応援することができます。皆さんの小さな選択が、持続可能な未来を育てます。

再エネと共生する仁木町へ! 次世代へつなぐ取り組み拡大中!



バイオ炭の炭化実証・性状調査



ソーラーミニカー工作体験



高校生によるロゴデザイン・シンボルキャラクターコンテスト

わたしたちが
がんばります!

果実とやすらぎの里にき

仁木町

Hokkaido Niki Town

自然の恵みをエネルギーに。
エネルギーを自然の恵みに。
一次世代につなぐニキノチカラPROJECT—
お問い合わせ窓口/仁木町 住民環境課
Tel 0135-32-2513

次号vol.2(3月上旬配布予定)にて、
『仁木町 再生可能エネルギービジョン』をご紹介します!

自然の恵みをエネルギーに。
エネルギーを自然の恵みに。
— 次世代につなぐ ニキノチカラ PROJECT —